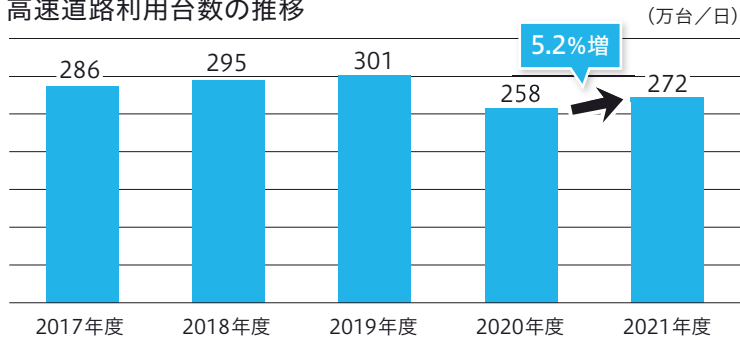


# 新型コロナウイルス感染症による経営への影響

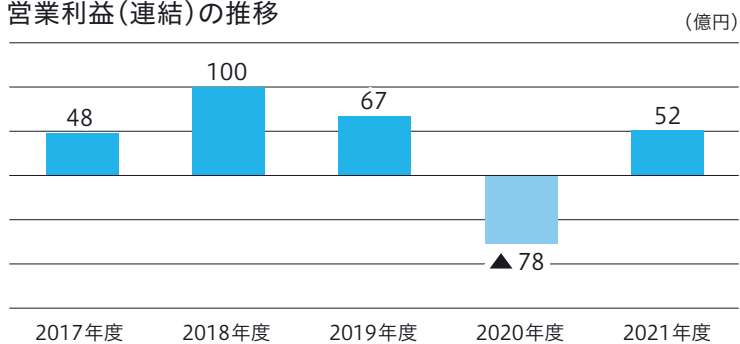
高速道路利用台数の推移



2021年度の当社管内の高速道路利用台数は、前年度比5.2%増の272万台/日となり、新型コロナウイルス感染症の流行により減少していた交通量は若干の回復となりました。

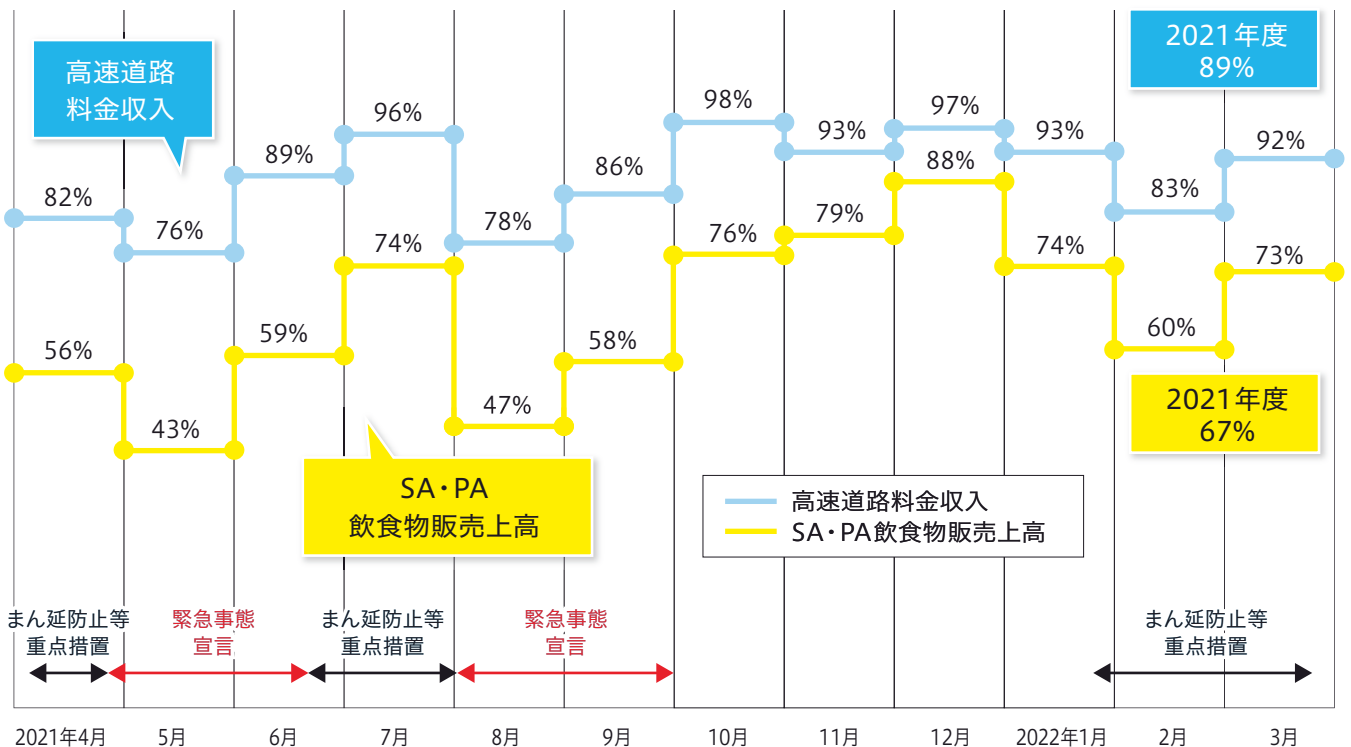
また、前年度決算では会社設立以来初の純損失を計上しましたが、2021年度決算では、営業利益は前年度比131億円増の52億円となりました。

営業利益(連結)の推移



一方で、新型コロナウイルス感染症流行前の2019年度と比較すると、高速道路料金収入は2019年度比89%、SA・PA飲食物販売上高は2019年度比67%となっており、完全には回復しておらず、2020年度に引き続き、厳しい経営環境となっています。

高速道路料金収入とSA・PA飲食物販売上高への影響(2019年度との比較)



※各月比較における2022年1月～3月は、2019年1月～3月との比較  
 ※大阪府における緊急事態宣言等の期間を掲載